

プ ロ グ ラ ム

10:15~10:25	開会の挨拶	所長	藤田 光一
◆セッション1「防災・減災・危機管理」			
10:30~10:50	都市防火研究と災害調査 —平成28年糸魚川市大規模火災調査報告—	都市研究部長	佐藤 研一
10:50~11:10	九州北部豪雨による土砂災害の特徴と減災に向けた取り組み	土砂災害研究部長	岡本 敦
11:10~11:30	水害リスク低減に向けた技術研究開発	河川研究部長	天野 邦彦
11:30~11:40	休 憩		
11:40~12:00	沿岸域を高潮から守る	沿岸海洋・防災研究部長	吉田 秀樹
12:00~12:20	超高層建築物等の長周期地震動対策 —設計クライテリアの考え方—	建築研究部長	福山 洋
12:20~13:20	休 憩		
◆特別セッション「生産性革命」			
13:20~14:50	ICT 活用によるインフラ生産性革命 —今、我々に求められていること—	(コーディネーター) 企画部長 (パネリスト) 道路交通研究部長 港湾研究部長 社会資本マネジメント研究センター長	上坂 克巳 喜安 和秀 藤井 敦 和泉 恵之
14:50~15:00	休 憩		
	特別講演		
15:00~16:00	生産性革命が未来を拓く —今、なぜ生産性革命なのか—	シンクタンク・ソフィアバンク 代表	藤沢 久美
◆セッション2「インフラの維持管理」			
16:05~16:25	下水道管路管理におけるマネジメントサイクルの構築に向けて	下水道研究部長	井上 茂治
16:25~16:45	空港舗装の点検技術の高度化に向けた研究	空港研究部長	石原 弘一
16:45~17:05	LCCM 住宅の概要	住宅研究部 住宅情報システム研究官	桑沢 保夫
17:05~17:25	道路構造物メンテナンスのセカンドステージへ	道路構造物研究部長	木村 嘉富
17:00~17:05	閉会の挨拶	副所長	三宅 光一

◇開会の挨拶

所長 藤田 光一



◇講演者及び演題

特別講演

生産性革命が未来を拓く ー今、なぜ生産性革命なのかー

シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢 久美



<プロフィール>

- ・大学卒業後、国内外の投資運用会社勤務を経て、1996年に日本初の投資信託評価会社を起業。1999年、同社を世界的格付け会社スタンダード&プアーズに売却後、2000年にシンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。現在、代表。そのほか、豊田通商など上場企業の社外取締役や国土交通省社会資本整備審議会委員、国土交通省 i-Construction 委員会委員など様々な省庁の委員や公職を務める。
- ・様々なテレビ・ラジオ・雑誌等を通じて、1000社を超える企業を取材。現在も全国の企業の経営者のインタビューと現場の取材を続け、メディアを通じて発信している。著書に「最高のリーダーは何もしない」、「なぜ、川崎モデルは成功したのか？」など多数。



都市防火研究と災害調査 ー平成 28 年糸魚川市大規模火災調査報告ー

都市研究部長 佐藤 研一

地震や津波による火災を除く市街地火災として、昭和 51 年酒田大火以来の規模となった平成 28 年糸魚川市大規模火災。その現地調査や再現実験・シミュレーション検証等の活動を通じて、国総研の都市防火研究を紹介した。



九州北部豪雨による土砂災害の特徴と減災に向けた取り組み

土砂災害研究部長 岡本 敦

本年 7 月に発生した九州北部豪雨による崩壊・土石流・流木など土砂災害の特徴を整理するとともに、減災に向けた国総研の研究活動を紹介した。



水害リスク低減に向けた技術研究開発

河川研究部長 天野 邦彦

水害リスクの低減に向けて国総研で実施している研究の概略について紹介するとともに、水害リスクを低減させるために今後実施しなければならない事項について述べた。



沿岸域を高潮から守る

沿岸海洋・防災研究部長 吉田 秀樹

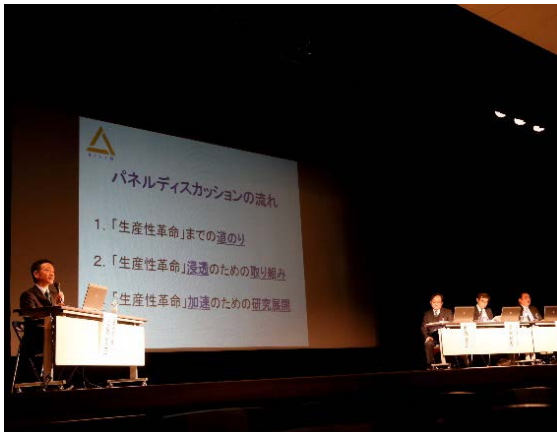
地球温暖化の気候変動による海面上昇、台風の大規模化により人口・経済が集中する沿岸域の高潮リスクが高まっている。港湾地帯の安全確保のための研究が重要であり、当部で実施している事項立て研究を中心に報告した。



超高層建築物等の長周期地震動対策 ー設計クライテリアの考え方ー

建築研究部長 福山 洋

本年4月1日に施行された、超高層建築物や免震建築物の長周期地震動対策の概要とともに、その技術的な検討の過程で整理された、建築物の構造設計や性能評価における設計クライテリアの考え方について紹介した。



ICT 活用によるインフラ生産性革命 ー今、我々に求められていることー

(コーディネーター) 企画部長

上坂 克巳

(パネリスト) 道路交通研究部長

喜安 和秀

港湾研究部長

藤井 敦

社会資本マネジメント研究センター長

和泉 恵之



下水道管路管理におけるマネジメントサイクルの構築に向けて

下水道研究部長 井上 茂治

下水道管路の点検調査の効率化・高速化のための机上スクリーニング手法の検討や技術開発、維持管理情報の活用等を通じたコストの最適化など、管路マネジメントサイクルの構築の取り組みを紹介した。



空港舗装の点検技術の高度化に向けた研究

空港研究部長 石原 弘一

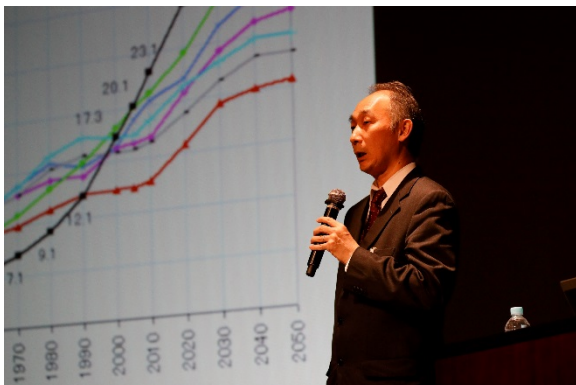
空港の更なる安全確保のため、滑走路等空港舗装の点検作業の精度向上や迅速化が求められる。非破壊計測技術を用いた空港舗装の点検手法、地震後の空港の早期再開のために必要な点検手法に関する取組状況を紹介した。



LCCM 住宅の概要

住宅研究部 住宅情報システム研究官 桑沢 保夫

パリ協定における日本の約束では住宅において大幅な省エネルギーが想定されており、LCCM 住宅はこれに対応する先進的な省エネルギー型住宅である。本講演では LCCM 住宅の概念と関連する研究等について概要を紹介した。



道路構造物メンテナンスのセカンドステージへ

道路構造物研究部長 木村 嘉富

平成26年度以降、各道路構造物の点検要領を整備し、定期点検が本格化されてきた。今後、メンテナンスのセカンドステージとして、点検や補修を着実に実施していくとともに、新技術の導入等による長寿命化・コスト縮減に取り組んでいく必要がある。講演会では道路構造物の維持管理に関する技術基準の概要と、国総研の取り組みや今後の方向性を紹介した。なお、新設橋の技術基準である道路橋示方書についても、耐久性向上の観点を中心に言及した。

◇閉会の挨拶

副所長 三宅 光一

